

岐阜商工会議所

平成30年度経営発達支援計画評価委員会

議事録

日時 平成31年3月15日(金) 13時30分～15時00分
場所 岐阜商工会議所 4階 常議員会室
議題 (1) 委員長選任について
(2) 経営発達支援計画について
(3) 経営発達支援計画の各事業に対する事業評価について
(4) 経営発達支援計画策定に向けての提言について
(5) その他

参加者 ○オブザーバー

岐阜商工会議所 会頭 村瀬幸雄 氏

○委員8名

岐阜商工会議所 副会頭 廣田孝昭 氏

岐阜県商工労働部 商工政策課課長補佐 水谷敏司 氏 (代理 安田有作氏)

岐阜市商工観光部 産業雇用課長 前田 仁 氏 (代理 安田征弘氏)

(株)道家経営・法務事務所 代表取締役 道家睦明 氏

名古屋税理士会岐阜北支部長 河合敏則 氏

(管内小規模事業者)

(株)三方良志 代表取締役 荻巣幹男 氏

洋風居酒屋 Pannonica 代表 甲斐幸恵 氏

MSA 代表 山口聡孔 氏

○事務局16名

岐阜商工会議所 専務理事 山田英治

同 常務理事 河尻 満

同 理事兼中小企業相談所長 市村敦史

同 中小企業相談所支援課課長 船田 淳

同 " 相談課課長代理 小島清隆

同 " 産業振興課課長 福地優子

同 " 企画振興課課長 鬼頭貴士

経営支援員(12名) ※一部上記の者を含む

船田 淳、福地優子、小島清隆、平井佑弥、森島 悠、浅野冴香
山田成大、三浦隆史、林 義晃、松田英和、松田英俊、小関 哲

【内容】

議題（１）委員長選任について

廣田委員を委員長に選任。

議題（２）経営発達支援計画について

市村理事より、資料１に基づき経営発達支援計画の概要について、および資料２に基づき評価の進め方について説明。

その後、事務局より、資料３に基づき実績報告の概要を説明し、成果事例として個社支援事例１３件を提示し、うち２事例について経営支援員２名（浅野・小関）により発表を行った。

議題（３）経営発達支援計画の各事業に対する事業評価について

事務局より資料４に基づき、Ⅰ経営発達支援事業の指針①～④の各項目、Ⅱ地域経済の活性化に資する取組、Ⅲ経営発達支援計画の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組について、各事業毎に「事業の目標」「今年度実績」「得られた効果」を報告し、うち支援事例として「経営支援機関システムB I Zミルの導入」、「夢をかなえる創業スクール in GIFU」、「特定バイヤー商談会の実施による販路開拓支援」について、それぞれ経営支援員より事業成果の発表を行った。そして、各事業毎に委員が協議し達成度に対する ABCD 評価および評価結果に基づく提示を行った。

その結果、ほとんどの事業で目標を達成および概ね達成できたと評価されたが、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】については、C 評価となり、事業改善の提示された。また、事業計画策定支援に関すること【指針②】については、B 評価ではあるが、ターゲット型創業塾が未実施となっているため事業改善が提示され、当事業を早期に実施するよう求められた。

なお、事業計画策定や販路開拓支援等の個社支援については、実績値のみではなくセミナーや商談会等の参加者数も考慮した上で、評価に反映させてもいいのではないかと意見があった。また、ICT活用については、ネットショップ出店支援だけではなく、自社HPでの展開を含め各種ITツールを活用した支援に注力していくことが今後の課題として挙げられた。

評価結果（評価基準は資料２参照）

項目	評価	提示
地域の経済動向調査に関すること【指針③】	A	ア
経営状況の分析に関すること【指針①】	B	ア
事業計画策定支援に関すること【指針②】	B	イ
事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】	A	ア

需要動向調査に関すること【指針③】	A	ア
新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】	C	イ
岐阜アパレルのブランド振興	A	ア
中心市街地活性化事業	A	ア
他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	A	ア
経営指導員等の資質向上に関すること	A	ア

議題（４）経営発達支援計画策定に向けての提言について

今年度の実績は概ね目標達成と認められ、特に個社支援事例にもあったように伴走型支援の指針のもと事業計画策定からフォローアップまで支援の充実が図られているものと評価できる。

次年度の課題として、変化し続けているITの動向を注視しながら支援を進めていくこと。また、計画目標には入っていないが、国土強靱化計画の関連で事業者のBCP対応への支援も必要であること。さらに、起業家支援等女性に対する経営支援は従来から求められているものであり、積極的にセミナー等の事業を展開するとともに女性目線を意識した支援を行うことなどが挙げられる。

以上の観点を考慮しながら、当計画の目標達成を前提として事業を遂行するよう提言する。

議題（５）その他

個社支援および事業成果について事例発表をパワーポイント（ディスプレイにて表示）により行ったが、委員より文字が小さくて見えないとの指摘を受けた。次回の委員会では、プレゼン用として見やすい資料を作成し提示する。

以上